

施策評価調書(2年度実績)

					施策コード	Ⅱ-2-(3)	
政策体系	施策名	先端技術への挑戦～大分県版第4次産業革命 “OITA4.0、” の推進～	所管部局名	商工観光労働部		長期総合計画頁	89
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	地域課題の解決に向けた先端技術の活用促進	先端技術を活用した産業振興	IT人材の確保と第4次産業革命に対応する人材育成	AI等を活用した行政手続きの効率化と県民サービスの向上
取組No.	⑤			
取組項目	革新的な情報通信基盤の整備			

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	IoT等のプロジェクト事業化件数(件)	①, ②	H26	-	17	21	123.5%	20					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	R2年度は、大分県IoT推進ラボで農林水産業や製造業、医療等幅広い分野に対して11件のプロジェクトの認定を行った。これまでに認定されたプロジェクトも含め、内5件のプロジェクトに対して補助支援を行い、具体的な事業化を進めた結果、他事業で推進したプロジェクトと合わせて、計21件の事業化を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・アバターの産業創出に向けた県内企業向けの勉強会「アバター産業創出塾」を立ち上げ、様々な分野や企業による実証実験を実施した。 ・ドローン物流の社会実装では、地域課題の解決につながる先駆的な社会実装モデルの構築を進めることができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングサイト「ドローンプラットフォームCROSS(クロス)」の運用を開始し、ドローンサービスを利用しやすい環境提供や基盤構築ができた。 ・ISTSキックオフイベント、おおいた宇宙フェスタ及び地域イベントを開催し、広く宇宙利用の可能性を周知し、宇宙関連産業への挑戦機運を醸成した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向けプログラミング教室や高校生と県内企業IT人材によるワークショップ等、若年層のプログラミングやIoTへの関心向上につなげることができた。 ・県内外のIT企業の交流促進イベントやAI・ビッグデータに係る実践的なセミナーを開催し、県内企業の人材の確保・育成を図った。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・農業参入した企業支援の一環として、ドローンとタブレット端末を活用し、県外の企業が県内の整備中の農地を確認できるようにした。 ・Web会議の30ライセンスと専用PC10台を導入し、事業者向け説明会やインバウンド商談会をオンライン開催するなど働き方改革を推進した。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の不感地域34地区(R1年度末)について、各市町村、携帯電話事業者への働きかけを行い、R2年度に1地区を事業化につなげた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	アバター戦略推進事業	100.0	218
	次世代モビリティサービス導入推進事業	200.0	218
	先端技術挑戦プロジェクト推進事業	100.0	219
	姫島ITアイランド構想推進事業	100.0	219
①②	ドローン産業振興事業	97.2	218
②	ISTSプロジェクト推進事業	148.1	219
	スペースポート推進事業	—	220
③	IT人材確保支援事業	96.3	220
④	モバイルワーク推進事業	100.0	220
	ICT活用業務効率化推進事業	85.7	221
	Web会議利用推進事業	712.0	222
⑤	電気通信格差是正事業	99.9	223

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R2.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業にデジタル化等は必要だが、方法が分からない中小企業が多いため具体例等を示すとよい。 ・スマートシティという大きな取り組みだが、例えばスマートエリアのような先端技術が集約されていくようなエリアを作ってはどうか。 	<p>第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県では航空宇宙の仕事に熱心なグループもあり、将来、航空宇宙関連の仕事が、県外企業に奪われる可能性がある。 ・企業等の参画による勉強会などができる組織を作ってもらいたい。
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・移動課題の解決や効率性の向上に留まらず、地域の交通事業者や周辺施設等を巻き込みながら、新たな価値を創出する仕組みを検討する。 ・大分県IoT推進ラボのプロジェクト認定、有望なプロジェクトへの補助、5Gを活用した実証実験等を通じ、先端技術を活用した地域課題解決型プロジェクトの創出を図るとともに、先端技術挑戦フォーラム等により先端技術への更なる理解向上や機運醸成を図ることで、大分県版第4次産業革命「OITA4.0」の実現を目指す。 ・離島物流や災害時救援等の課題解決の手段としてドローン物流の社会実装に取り組むとともに、運用を開始したドローンビジネスプラットフォームについて、サービスの充実やサイトの機能拡張などを行い、プラットフォームの構築を加速化する。 ・ISTS(宇宙技術および科学の国際シンポジウム)の機会を活用し、引き続き、県内企業による衛星データを活用した新たな製品・サービスの創出の取り組みを進め、事業化に向けた取り組みや実証化への伴走型支援を行う。